

取扱説明書・施工説明書
—保証書付—

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



このマークは放送法「不要放射34dBμV/m以下」に準拠・設計された「Wi-Fiや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。

4K8K
3224MHz対応

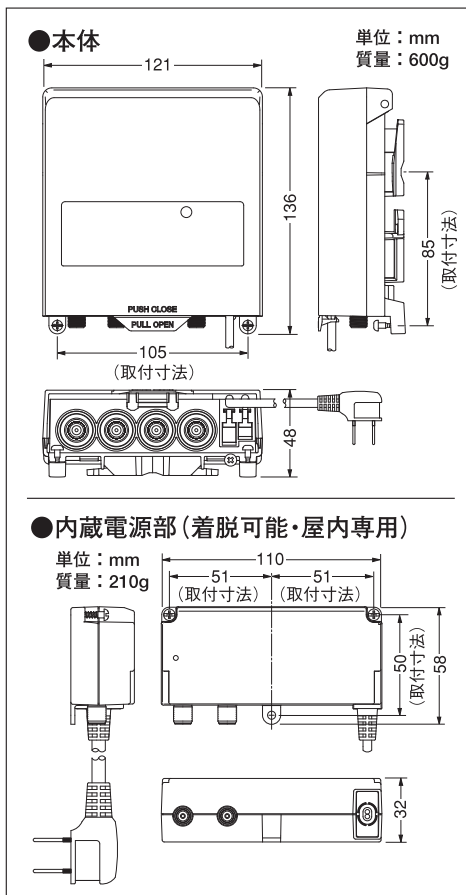
双方向CATV増幅器

屋外用
10~60, 70~962, 1030~3224MHz
電源部着脱可能型

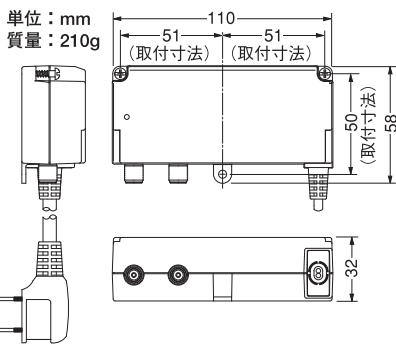
Model SRB3020SEG
Model SRB30SEG

取扱説明書

外観および寸法図



●内蔵電源部 (着脱可能・屋内専用)



取扱上のご注意

電気工事には専門の資格が必要です。
取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

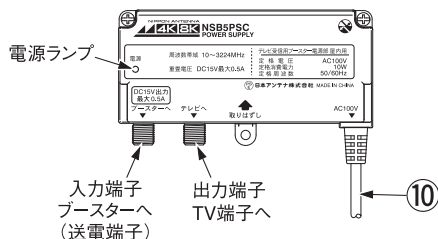
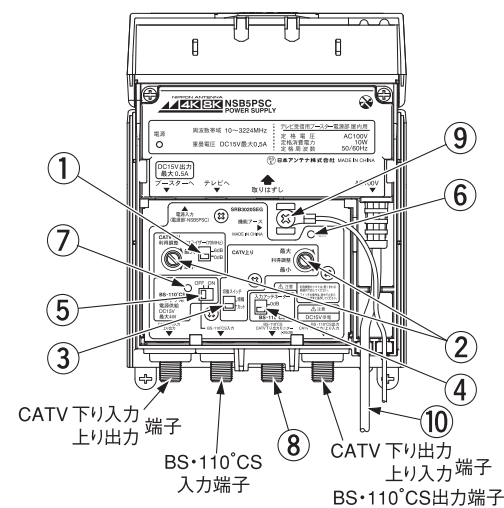
いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

特長

1. 本器はCATV施設の端末に使用する屋外、屋内共用BS・110°CS帯域対応の双方向CATV増幅器です。
2. 本器は上り帯域(10~60MHz)、下り帯域(70~962MHz)、BS・110°CS(1030~3224MHz)を増幅できます。※SRB30SEGは、上り帯域パス。
3. 上り帯域は切替スイッチにより、増幅、カット(流合雑音対策)を選択できます。※SRB30SEGは、パス、カットの切替。
4. 上り帯域は利得調整器、下り帯域は利得調整器とイコライザー、BS・110°CS帯域には入力減衰器(アッテネーター)が付いていますので、各帯域ともにレベル調整が簡単にできます。
5. 下り、BS・110°CS出力モニター端子(-20dB)がありますので、放送を中断することなく、レベルチェックや利得調整ができます。
6. BS・110°CSコンバーター用としてDC15V(4W)を送電できます。
7. 電源部を本体ケースから取り出して、電源分離型プースターとしても使用できます。
8. 本体ケースから電源部と増幅部を取り出して一体で壁面に取付けることができます。
9. 本体ケースは耐食性・耐候性に優れた材料を使用、内部はシールド構造ですので、電波の漏洩や飛込み防止に効果があります。
10. 本体に収納された取付ねじで壁面へ簡単に取付けることができます。また、SRB金具(別売品)、ステンレスバンド(市販品)があれば、マストにも取付けることができます。
11. 本体カバーを閉めても電源ランプが確認できます。

各部の名称および機能

(図はSRB3020SEGです。)



●出荷時の設定

BS・110°CS アッテネーター 6dB、電源供給 OFF
下り利得調整 最小、イコライザー 0dB
上り利得調整 最小、上り切替 カット

① 下りイコライザースイッチ (6dB)	スイッチ上側時 6dB (70MHz)、下側時 0dB
② 利得調整ツマミ (0~-10dB)	各帯域の利得を調整できます。 SRB3020SEG: 上り(0~-10dB)、下り(0~-10dB) SRB30SEG: 下り(0~-10dB)、上りの利得調整はありません。
③ 上り切替スイッチ	SRB3020SEG: 増幅、カットの切替が可能です。 SRB30SEG: パス、カットの切替が可能です。
④ BS・110°CS入力アッテネータースイッチ (6dB)	スイッチ上側時 0dB 下側時 6dB
⑤ 電源供給スイッチ	BS・110°CSコンバーターへDC15V(4W)を供給できます。
⑥ 電源ランプ	電源を入れるとランプが緑色に点灯します。
⑦ 電源供給表示ランプ	電源供給スイッチをONにするとランプが赤色に点灯します。送電時に異常があるときはランプは点灯しません。
⑧ 下りBS・110°CS出力モニター端子	下りBS・110°CS出力レベルより20dB少ない値を出力します。
⑨ 機能アース端子	アース線はφ1.6~2.0mmの被覆銅線で完全に接地してください。接地が不十分だと避雷回路が働かず、機器や施設の故障などの原因になることがあります。
⑩ 電源コード	表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」、「施工説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、おしいになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 万一、本器を落としたり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。(電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。)
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
- 本器のカバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

注意

- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源分離で使用するときは、本器電源部以外の電源は使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

標準性能表

項目	SRB3020SEG			SRB30SEG			備考
	CATV上り※1	CATV下り	BS・CS-IF	CATV上り※2	CATV下り	BS・CS-IF	
周波数帯域 (MHz)	10~60	70~962	1030~3224	10~60	70~962	1030~3224	
利得 (dB)	15~21	25~31	15/25※3	-3.0(パス)	25~31	15/25※3	
出力信号周波数偏差 (dB)	±3以内	±3以内	—	—	±3以内	—	
阻止帯域減衰量 (dB)	40以上※4	—	—	30以上※4	—	—	
利得調整範囲 (dB)	0~-10以上	0~-10以上	—	—	0~-10以上	—	連続可変
入力レベル調整 [ATT] (dB)	—	—	0, 6	—	—	0, 6	切替
周波数特性等化器 [EQ] (dB)	—	0, 6 [70MHz]	—	—	0, 6 [70MHz]	—	切替
適正入力レベル (dBμV)	90~100	68~78	72~88(50波)	—	68~78	72~88(50波)	
標準出力レベル (dBμV)	110	98※6	93/103(50波)※5	—	98※6	93/103(50波)※5	
雑音指数 (dB)	10以下	10以下	10以下	—	10以下	10以下	最大利得時
入力・出力インピーダンス (Ω)	75						F型
電圧定在波比	2.5以下						
C/N比 (dB)	—	51以上	—	—	51以上	—	標準出力レベル時
B/E/R (dB)	1.0e-9以下			1.0e-9以下			標準出力レベル時
C/I/N/R (dB)	—	—	22以上	—	—	22以上	標準出力レベル時
ハム変調 (dB)	-60以下						
出力モニター結合量 (dB)	—	-20	-20	—	-20	-20	
耐雷性 (kV)	±15 (1.2/50μs)						
不要放射 (dBμV/m)	34以下						3m法による
直流供給電圧 (V)	—	—	DC15(±10%)4W	—	—	DC15(±10%)4W	入力端子
電源電圧 (V)	AC100 (50/60Hz) または DC15						
消費電力	AC100V 4.6W (DC15V送電時9.5W) DC15V 200mA (DC15V送電時470mA)			AC100V 3.7W (DC15V送電時8.6W) DC15V 150mA (DC15V送電時420mA)			
使用温度範囲 (°C)	-20~+50						本体周囲温度
使用湿度範囲 (%)	20~90						結露なきこと

- ※1 上り増幅・カット切替スイッチ付
※2 上りパス・カット切替スイッチ付
※3 標準値 (1030/3224MHzの値)
※4 上りカット時
※5 1030/3224MHzの値
※6 PGLレベルでの規定
70~962MHz: FM12ch、デジタル6MHz×143ch伝送 -10dB運用

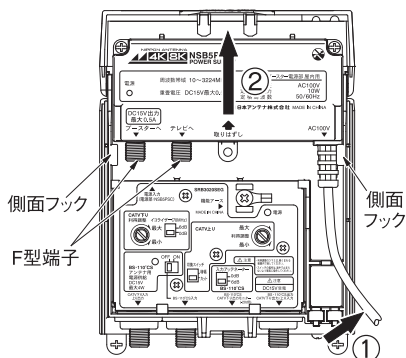
項目	型名	NSB5PSC
周波数帯域 (MHz)	10~770	770~3224
挿入損失 (dB)	1.5	3.0
電圧定在波比	1.5	2.5
電圧 (V/W)	AC100 (50/60Hz) / 10	
入力・出力インピーダンス (Ω)	75 (F型)	
重量電圧 (V/mA)	DC15 / 最大500	
使用温度範囲 (°C)	-20~+50 (本体周囲温度)	

施工説明書

設置場所・条件・電源分離方法

- 高温の場所、有毒ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 増幅器は発熱しますので、熱のこもる場所はさけてください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- 本体や電源部はメンテナンスに容易な目の届く場所に設置してください。

■電源部 (NSB5PSC) の取りはずしかた



- ①電源コードを本体ケースのミゾからはずします。
- ②電源部にゆびをかけ、上に押し上げます。
- ③本体の側面フックと、電源のF型端子が増幅部からはずれたら、電源部を手前に抜き出します。

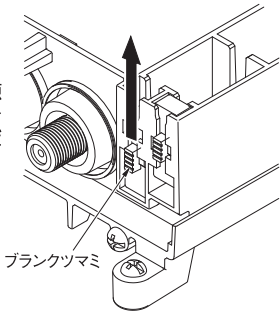
ポイント

- 取りはずした電源部は屋内専用です。
- 電源部をはずした後、再び収納する場合は、はずした逆の手順で取付けてください。
- 電源部を取りはずす際、むりに手前に引かず、必ず上にスライドさせてから手前に抜き出してください。
- 操作後、カバーは確実に閉めてください。カバーを確実に閉めることにより、電源部と増幅部が確実に合体し、固定されます。
- 電源コードは必ず本体ケースのミゾに入れてください。カバーが閉まりません。

■ブランクツマミの操作

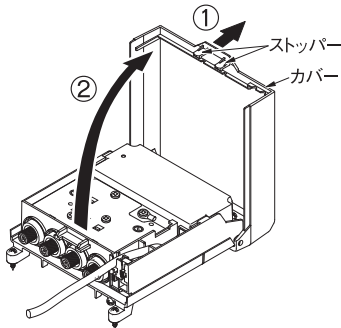
(電源部を取りはずして使用する場合)

- 電源部を取り外したあとは必ず電源コード用のブランクツマミ (左側) を上にスライドさせ、穴をふさいでください。
- 雨やほこりの侵入を防ぎます。



■ケースの開けかた

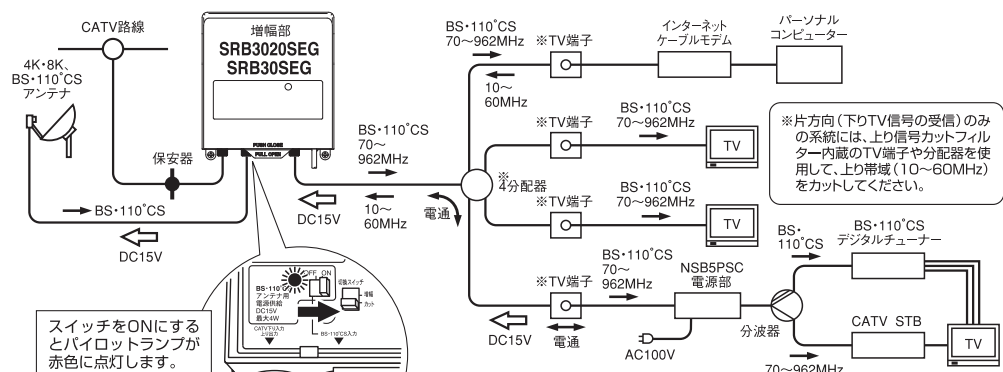
カバーを上側へ持ち上げると開きます。カバーは本体に対して直角程度まで開くとストッパーで固定されます。操作が完了したらカバーをしっかり確実に閉めてください。



⚠警告

電源部を取りはずす場合または再び本体に収納する場合は、必ずAC100V電源コードをコンセントから抜いておこなってください。また電源部を本体収納で使用する場合は、電源コードは雨露にさらされない屋内に設置してください。火災・感電の原因となることがあります。

同軸ケーブルの接続例 (電源部分離時)



⚠注意

- F型接栓は必ず指定のトルクで締めてください。トルクの過多・不足は機器の故障や障害の原因となります。
- NSB5PSC以外の電源を使用しますと、故障の原因となります。
- BS-110°CSデジタルチューナーなどのアンテナ供給電源は、OFFにしてください。

●F型接栓締めトルク

2.0N・m (約20kgf・cm)

ポイント

- 本器は必ず保安器の後に取付けてください。
- 電源部を分離して使用するときは、増幅部 (本体) のDC15V受電端子と電源部の送電端子を間違えずに接続してください。
- 配線工事が終了してから電源を入れるようにしてください。

調整方法

①調整時のご注意

- 出力モニターは出力レベルより20dB少ない値を表示しますが、出力端子が開放状態や、施設の電圧定在波比が悪い場合は、出力モニターレベルが不正確になりますので、より正確なレベル測定をおこなう場合は、出力端子をご使用ください。

●入力レベルが規定値より大きい場合

- ブロックノイズ
 - ブラックアウト
- などの障害が生じることがあります。

※特に4K・8K、BS-110°CS放送では、多少の過入力でも画質に障害は出ませんが、他の帯域に障害が生じることがあります。

●利得調整

入力アッテネーター、利得調整ツマミを使用し、定格出力レベルになるように出力レベルを下げてください。入力アッテネーター、利得調整でも補えない場合は、別売の減衰器 (アッテネーター) (DC15V送電時は電流通過型) を入力端子側に接続してください。

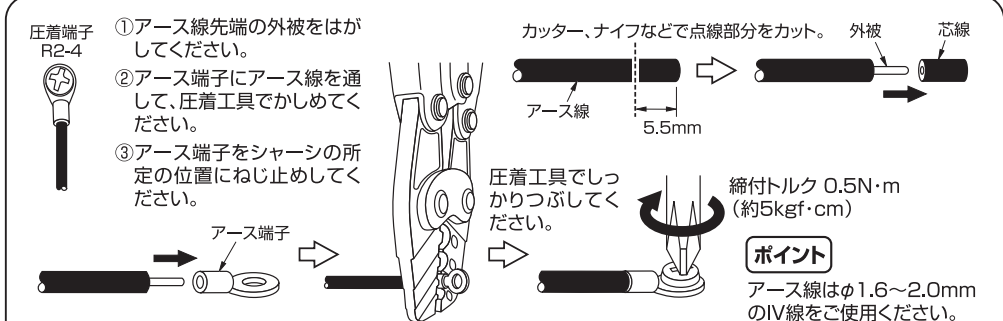
●利得調整時のご注意

利得調整のツマミは、軽く回る範囲内で回してください。無理に回すと破損します。

●スイッチ操作について

スライドスイッチの切替は確実に操作してください。操作不十分ですと信号が遮断されてしまいます。

機能アースのとりかた



ポイント

アース線はφ1.6~2.0mmのIV線をご使用ください。

⚠注意

アース接続は必ずおこなってください。接地がおこなわれないと機器の故障の原因となります。(接地抵抗 100Ω以下: D種接地工事)

保証書

型名	取扱表面に記載
お客様	お名前 ご住所 電話番号 ()
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号 年 月 日
保証期間 (お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。
②修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
②お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
④海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害 (硫化ガスなど) など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
⑨消耗品品の消耗に起因する故障および損傷。
⑩日本国外で使用された場合の故障および損傷。
⑪本書のご提示がない場合。
⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

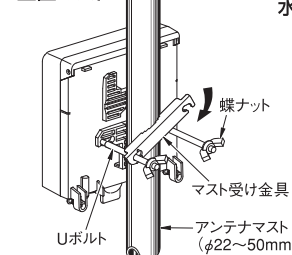
取付方法

●マスト取付の場合 (本体)

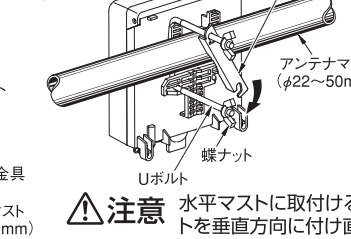
○Uボルトを使用の場合

Uボルトを持ち上げ、マスト受け金具を挿入し、蝶ナットでしっかりと締めつけます。

垂直マスト



水平マスト

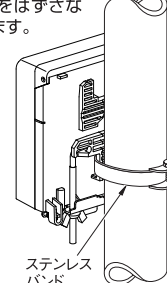


⚠注意

水平マストに取付ける場合は、Uボルトを垂直方向に付け直してください。(Uボルトの取りはずし方参照)

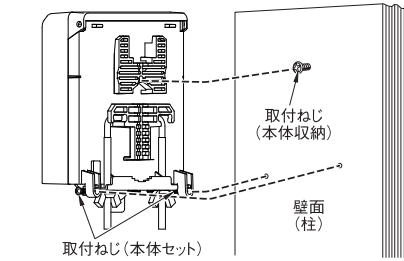
○ステンレスバンド (市販品) を使用の場合

ステンレス幅5~20mmのものを使用してください。マスト受け金具は必ずなくても取付けできます。



●壁面取付の場合 (本体)

本体に収納された取付ねじをはずし、壁面 (柱) の表面から4~8mm出るようにして取付ねじをねじ込んでください。本体上部を取付ねじにひっかけて固定してから下部を本体にセットされた取付ねじ2本でしっかりと固定してください。

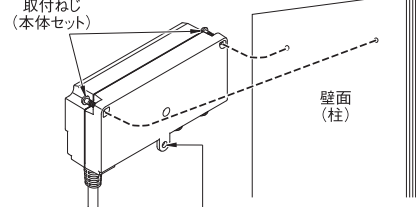


●電源部の取付かた

(電源部を本体から取りはずした場合)

○壁面取付の場合

取付ねじ2本でしっかりと固定してください。



細い梁などに取付ける場合は、中央の取付穴も利用できます。その場合どちらかのねじを取りはずしてご使用ください。

⚠注意

電源部は屋内用です。屋外では使用できません。

ポイント

- 同軸ケーブルは、芯線の外径が1.5mm以下のものをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付の接続器をご使用ください。
- 屋外へ接地する場合、防水キャップをご使用ください。
※バルク梱包品に防水キャップは付属しておりません。

お客様窓口 0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社 / 〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎ (03) 3893-5221 (代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>
※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7112627 平成29年12月